

# 市長の窓



しげ のぶ  
滋宣の

ぼう ちゅう かん

あん ちゅう めい

## “忙中閑あり 暗中明あり”

その 44

～ すず らん ～  
鈴 蘭

白くてかれんな花が鈴を思わせるところから「すずらん」と名付けられましたが、ランの仲間ではなく、ユリ科の植物です。

別名を「君影草」といいます。うつむいて咲く花が愛する人をひたすら待つ乙女の姿に見えることから付いたといっています。

英語では「谷間の姫百合」、ドイツでは「五月の小さな鐘」、フランスでは「聖母マリアの涙」と呼ばれ、花言葉は「幸福が戻ってくる」「純潔」「謙遜」。フランスでは、花嫁に鈴蘭の花を贈る風習があるそうです。

鈴蘭のイメージはどの国も共通のようで、これらの名前を見ただけで、清楚でかわいらしい花が世界中の誰からも愛されていることがわかります。

しかし、鈴蘭には有毒物質があり、摂取すると嘔吐、頭痛、めまい、血圧低下、心臓麻痺などの中毒症状を起し、最悪、死に至るということもあるそうです。

「きれいな花には棘がある」ということでしょうか…。

鈴蘭のりりりりりりと風に在り

(日野 草城)

能代市長 齊藤 滋宣



5月31日、落合にある能代七夕「天空の不夜城」の製作現場を訪れました。